

# 令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

南港桜	小学校	児童数	579名
-----	-----	-----	------

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.52	19.62	32.98	41.65	54.15	9.54	149.82	18.86	53.19
大阪市	16.11	18.48	32.94	37.73	42.24	9.50	147.79	20.23	50.79
全国	16.22	18.90	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
女子	16.19	17.03	37.70	40.86	45.06	9.36	147.09	13.52	56.52
大阪市	16.00	17.64	37.71	36.25	34.55	9.70	140.60	12.84	52.81
全国	16.09	18.08	37.90	38.72	38.15	9.64	145.18	13.30	54.64

### 結果の概要

昨年度までの学校の重点課題であった「反復横跳び」や「20mシャトルラン」は男女とも全国平均を上回る結果となった。全国平均を下回る種目はいくつかあるが、体力合計点は全国平均を上回る結果となった。一昨年度はすべての種目において全国平均を下回る結果だったので、児童の体力・運動能力は以前よりも向上している。質問項目の「運動やスポーツをすることが好きですか」の回答は肯定的な回答が94.7パーセントとなっており、運動が好きな児童が多いことが分かった。しかし、質問項目「ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを、合計で1日およそ何分くらいしていますか」では、平日に運動している時間が全国や大阪市の平均値よりも低く、1週間の総運動時間も低い結果となった。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は、児童の体力面の向上のため、これまで行われていた「走れ走れ大会」を継続して取り組む計画を立てた。また、マラソンカード等を活用しながら業間に持久走を行った。しかし、新型コロナウィルスの感染拡大防止のため業間の持久走は途中で中止となり、「走れ走れ大会」も中止となった。

すべての種目において平均前後、または平均を上回る結果となった。3年生が年3回行う「NOBY T&F CLUB」等の体力向上プログラムに参加する等の取り組みが体力向上につながったと考えられる。しかし、児童が平日に運動している時間が全国や大阪市の平均よりも低い。そこで、休み時間に児童が運動場に出て、運動をするなわとび週間等の取り組みは来年度以降も行うとともに、体育科の授業の始めに休み時間でも楽しめるような体つくり運動をし、児童の休み時間への運動意欲を高めていく取り組みを行う。また、男子のソフトボール投げが平均を大きく下回っているので「投」の活動を取り入れた取り組みを行っていくよう検討・計画をする。